

あいおいニッセイ同和損保向けに“損害車両撮影ナビゲーションシステム”を構築  
自動車保険金における保険金支払いのさらなる適正化を支援

キヤノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：足立正親、以下キヤノンMJ）は、livepass株式会社（代表取締役CEO：中村 旭宏、以下livepass）と共同で、MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介、以下あいおいニッセイ同和損保）向けに、“損害車両撮影ナビゲーションシステム”を構築しました。保険契約者自身による事故車両の撮影とデータ提出を実現することで、事故後の車両状態の確認を可能にし、自動車保険における保険金支払いのさらなる適正化を支援します。



“損害車両撮影ナビゲーションシステム” 操作画面

■ 導入の背景と目的

あいおいニッセイ同和損保は、目指す姿として「CSV×DX」を掲げ、最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していくことで、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組んでいます。同社ではより良いサービスを提供する一環として、自動車保険における保険金支払いのさらなる適正化を推進しており、修理工場に入庫する前の事故車両の状態を正確に把握することが、適正な保険金支払いに繋がると考えています。

今回キヤノンMJはlivepassと共同で、あいおいニッセイ同和損保向けに“損害車両撮影ナビゲーションシステム（以下本システム）”を構築しました。本システムにより、保険契約者は事故車両を修理工場へ入庫する前に、事故車両を撮影したデータを保険会社へ提出することができます。これまで保険会社は、修理工場から伝送される車両の画像を元に査定を行っていましたが、今後は保険契約者が撮影した入庫前の映像・画像と比較でき、保険金支払いのさらなる適正化を実現します。

■ 本システムの主な特長

イラストやアニメーションによる分かりやすいガイダンスにより、保険契約者は事故車両の撮影から画像データの提出までスムーズに完了することができます。さらに、写真だけでなく動画撮影にも対応しているため、車両の状態を360度もれなく申告することが可能です。また、本システムはウェブブラウザ内での利用が可能のため、専用アプリケーションなどをインストールする手間がありません。

■ 今後の展開

キヤノンMJは今後、映像・画像解析やAIを活用した修理見積りのチェックなどに領域を広げ、保険金支払いのさらなる適正化に貢献していきます。

- 
- 報道関係者のお問い合わせ先 : 広報部 パブリックリレーションズグループ 03-6719-9093
  - 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社 03-6719-9370  
ITソリューション企画部 クラウドサービス企画課
  - パーソナライズド動画ソリューション : <https://canon.jp/business/solution/industry/finance/lineup/cross-industry/homepage>  
ホームページ movie-approach
  - ニュースリリースホームページ : <https://corporate.canon.jp/newsrelease>

#### 〈あいおいニッセイ同和損害保険株式会社について〉

【所在地】東京都渋谷区恵比寿一丁目28番1号

【代表者】代表取締役社長 新納 啓介

【設立】1918年6月30日

【事業内容】損害保険事業

【URL】<https://www.aioinissaydowa.co.jp/>

#### 〈livepass株式会社について〉

視覚と聴覚に訴え、ストーリーを語れる動画。livepassは、そんな訴求力の高い動画をダイナミックに生成する技術を有しており、たとえ100万通りの動画であっても瞬時に生成でき、個人個人に合わせたパーソナライズド動画などのCX/EXを改善するサービスを提供します。

【所在地】東京都港区六本木1-4-5 アークヒルズサウスタワー 16F

【代表者】代表取締役CEO 中村 旭宏

【設立】2013年12月25日

【事業内容】次世代動画サービスの開発・提供、マーケティングソリューションサービスの開発・提供、DXコンサル・受託開発事業

【URL】<https://www.livepass.jp/>